

申にや、略中儀式などは大かた元日におなじ其上いつもの事なれば、記すも不珍やうなれば書  
のせず、天武天皇十年正月七日に、御門小安殿におはしまして宴會の儀有り、是や七日の節會の  
始なるべからん、

〔禁中年中行事正月〕七日 白馬節會北陣 判官石七 檢非違使左右衛門尉勤之 看督長石三

斗五 五人 使廳貳石斗 九人 火長壹石斗 三人 奉行職事 四位五位職事勤之 藏人 四位

五位職事六位藏人勤之 陣官人 庭火 主殿寮調進之 催 勢多判官勤之 白馬節會 内

辨 左右大臣、内大臣、左右大將、或大納言第一人勤之、○下略

〔續近代年中行事正月〕白馬節會

一 正月上旬御點被下、申沙汰被仰出、此已後催之條々、

一如元日儀、但舞妓儀、長橋局 江 申入置事、

一 左右馬寮下知之事

白馬節會左馬寮役御馬之事、任例可令下知給者、依天氣執達如件、

月日

官名

謹上今出川殿

右依時官禮節書之、貫首五位職事同前、

白馬節會右馬寮役御馬之事、任例可令下知給者、依天氣執達如件、

月日

官名

謹上 三條殿

右同斷

右三條今出川之内、故障之節、一方 江 一所申遣事、